

記載例

第3号様式（第3条関係）

令和8年2月2日

立川市長 殿

農業委員会委員候補者応募申込書

立川市農業委員会委員候補者として次のとおり応募します。

なお、記載内容について、市長が関係者への確認や官公署に照会することについて同意します。

氏名	(ふりがな) しもすな はなこ 下砂花子 印 (自署の場合は押印を省略することができます。)	性別 女
住所	〒190-〇〇〇〇 立川市柴崎町〇丁目〇番〇号	職業 事務員
生年月日	昭和52年5月1日生(満49歳:令和8年7月20日時点)	
連絡先	電話番号(携帯) 〇〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇 (固定) 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
経歴 (職歴・農業に関する資格等)	【記入例】 (別紙にて作成可) ○年 ◇◇会社に入社 ○年 同社 □部門の業務で… <ul style="list-style-type: none">・農産物加工品の広告、マーケティング業務に従事・農業法人設立の際に、法的なコンサルティング業務を担う・農産物の仕入れ、販売を通じて農業分野の知見を養った ○年 ◇◇会社退社後、◎◎体験型農園に入園し、現在まで継続 ○年 ◆◆で営農ボランティアに参加、運営スタッフとして活動 ○年 農業体験イベントに参加し、都市農業の現況について講習を受けた	
の状況 (農業経歴がある方は記載)	主な経営作目： 農地(耕作)面積： キャベツ、白菜 など 50a など 年間従事日数： 候補者本人 50 日 その他累計 200 日 就農年月： 平成7年8月 本人以外の家族等の従事日数の合計	

認定農業者等の該当状況 (該当する場合○をつけてください)	1 認定農業者（個人）又は認定農業者（法人）の役員等である者 2 認定農業者に準ずる者 ア 認定農業者（個人）又は認定農業者（法人）の役員等であった者 イ 認定農業者の農業に従事し、経営に参画する親族 ウ 認定就農者（法人の場合は役員等） エ 集落営農組織の役員 オ 農業の振興に関する国又は地方公共団体の計画において位置付けられた農業者 カ 基本構想水準到達者 ③ 1及び2に該当しない者
指導農業士等 (該当する場合○をつけてください)	1 指導農業士 2 GAP取得者（都・新都・J）
農業団体役員 (現職もしくは前職で団体加盟している方)	農業団体名 役職 立川市〇〇生産組合 会計
地域貢献 (該当する場合○をつけてください)	1 民生委員 2 自治会長・副会長 3 消防団員
応募した理由 (委員としての責務や遂行する意欲等)	<p>これまでの業務で培った、農業関係の法知識や営農ボランティアスタッフとして経験を立川農業の発展のために活かしていきたい。 例えば……</p> <div style="background-color: #f0e6ff; padding: 10px; border: 1px solid black; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: 0;"> <p style="text-align: center;">都市農地の保全・都市農業の振興に関し、農業委員会業務の中で、自身の経験や知見がどのように活かせるか、などの観点でご記入ください (今後の抱負でも結構です)</p> </div>
市税等の納付 (該当するものに○をつけてください)	① 滞納は無い 2 滞納がある
他市等の農業委員会委員等の推薦の有無 (該当するものに○をつけてください)	1 他市等の農業委員会委員の推薦を受け、又は応募をしている。 (市町村名：) 2 農地利用最適化推進委員の推薦を受け、又は応募をしている。 ③ 該当なし

備考

- 応募を受けた内容は、農業委員会等に関する法律施行規則（昭和26年農林省令第23号）第6条の規定により、原則として公表されますが、住所及び電話番号は、公表いたしません。
- 「経歴（職歴）」又は「応募した理由」の記載に当たり、スペースが不足する場合は、別紙を添付してください。
- 提出された応募申込書は、返却いたしません。